

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年3月31日

施設名	港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区南麻布1-5-26	指定管理者	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部東京都済生会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 （共同事業体の場合記入）	令和8年3月までの改善状況等 （指定管理者記入欄）	令和8年4月以降の取組予定 （指定管理者記入欄）	所管課確認欄 （施設所管課記入欄）
施設運営のリスク要因（事故・感染症・災害など）を洗い出し、高齢者デイサービス施設として優先度の高い感染症のリスク対策は外部研修に参加し、それに基づく内部研修を行っている。また、インシデントやアクシデントの発生時には、「インシデントアクシデント報告書」の提出により、要因分析や再発防止策の検討を行っている。さらに、リスク発生時対応として、優先度の高さに応じて危機管理マニュアルや安全基準フロー等を整備し、災害等のリスク発生に応じた利用者等の必要な対策の整備に取り組んでおり、今後、非常勤職員への周知徹底が望まれる。		第三者評価の結果を回覧し、改善すべき点について、全職員で共有した。全職員への周知徹底の方法について、常勤職員で検討し、案を作成し、全職員で検討していく事とした。	インシデントアクシデント報告書（ヒヤリハット報告書）は譴責のためではなく、始末書でもなく、職員全体の気づきとスキルアップの為に必要な物であるという事を理解してもらえるように全職員に働きかける。職場内研修を危機管理についての内容で実施する。	施設においては、外部研修の受講や内部研修の実施、インシデント・アクシデント報告書を活用した要因分析及び再発防止策の検討が行われているほか、危機管理マニュアルや安全基準フローの整備も進められており、リスク管理に関する取組は着実に進展しているものと認められる。一方で、これらの取組については、非常勤職員を含めた全職員への浸透が必要であることから、周知方法の工夫や継続的な研修の実施により、実効性のある体制として定着させていくことが望まれる。
サービス利用における様々な場面を想定したマニュアル・手順書等は一通り用意されており、手順を経て定期的に見直しも行われており、見やすいよう工夫もされ、必要に応じて活用されている。多忙な業務の中では、日常的に活用できているかはなかなかそのようにはいかない面もあり、業務の合間でも手に取り、確認しやすいような工夫が望まれる。		第三者評価の結果を回覧し、改善すべき点について、全職員で共有し、次年度の職員ミーティング等でどのようにすれば、マニュアルや手順書を全職員が確認しやすいか等の意見交換を行う事とした。	マニュアルや手順書の要点をまとめて簡易版を作成し、スタッフが良く見る場所に掲示する等の工夫について検討し、実施する。	マニュアル及び手順書については、整備並びに定期的な見直しが行われており、内容面においても一定の整理が図られている状況が確認できた。しかしながら、日常業務の中での活用が十分に浸透しているとは言えず、実務との結び付きに課題が残る。今後は、要点を整理した簡易版の作成や掲示といった工夫を行い、職員が随時確認できる環境を整備することで、業務の標準化とサービスの質の向上につなげていくことが求められる。
毎月1回、プログラムミーティングを開催し、実践したプログラムの振り返りを行い、次月のプログラムの内容を検討している。プログラムは動く、発声、発音など、常にリハビリの要素を取り入れ、楽しく取り組める内容にしている。集団体操、職員が考えたゲーム、カレンダー作りなどの制作活動、各種の脳トレーニングなどを行い、利用者の生活機能向上や健康増進を支援している。一方、マンネリ打破のため、新しいプログラムの開発に取り組みたいと振り返っている。さらなる検討を進めることが望まれる。		第三者評価の結果を回覧し、改善すべき点について、全職員で共有した。全職員に「今後のデイサービスについてどのような事をしていきたいか、自分ならどのようなサービスを望むか」というテーマでアンケートを行い、全意見を全職員で共有した。	職員へのアンケート結果をもとに、毎月のプログラムミーティングでの検討や月一回の定例会議で取組の促しを行っていく。	プログラムミーティングの継続的な実施により、実施内容の振り返りや改善に向けた検討が行われているほか、リハビリ要素を取り入れた多様な活動を通じて、利用者の生活機能維持・向上に寄与する取組が実施されている点は評価できる。その一方で、プログラム内容についてはマンネリ化の課題が認識されており、更なる工夫の余地がある。職員アンケート等により収集した意見を活用し、新たな企画の導入や取組の見直しを進めることで、より魅力あるサービス提供へとつなげていくことを期待する。